

◆ テーマ6 ◆

ゲームで遊ぶなら 気をつけたいこと

ゲームがきっかけで起きたトラブルは、

高額課金 や ゲーム依存 以外にも

IDの乗っ取り や 誘い出し など、

機器の設定や遊び方を工夫すれば
防げるものがほとんど。ゲームを

コミュニケーションの場と考えるなら

安全に遊ぶための工夫や危機管理を
怠ってはいけません!!

ゲーム中に複数で会話できるボイスチャット機能。チーム内とかOKした人だけじゃなく、知らない人とつながれるゲームもあるのは知ってるよね？身バレして、誘い出されたり脅されたりする事件も起きてるし、本当に気をつけて ⚠



11 ゲーム上でのやり取りから生じたトラブル

他人にIDとパスワードを教えてしまい



くんは、ゲームを有利に進めるアイテムが欲しいのですが、ポイント不足で買えません。そのとき、「ポイントいる?」というメッセージが届きました。

パスワードを変更されゲームを乗っ取られた



ポイントをもらえるならIDとパスワードを教えたら、パスワードが変更されたらしくログインできません。ゲームのアカウントを乗っ取られてしまったのです。

考えてみよう!



アイテムやガチャの魅力は上がり、文字や音声でやり取りしながら楽しむゲームも増えました。課金をし過ぎないためにできる工夫や、プレイする際に気をつけたいことは?

A. 課金のし過ぎを防ぐには

コンビニなどでも手軽に買えるプリペイドカードを、お小遣いで購入して大切に使うのは良い方法です。ひと月の限度額を自ら決めることで、コントロールしながら使う力が身につきます。

B. 甘い誘いはワナの可能性が

アカウントを乗っ取るため、ID・パスワードを知ろうとする悪人がいます。聞かれても答えだけでなく、ゲームでのやり取りから推察できるパスワード(例:好きなアイドルやペットの名前)はNG!

C. ボイスチャットはさらに注意

プレイ中、音声で仲間と会話できるゲームがあります。マイクの性能も上がり、周囲の会話が相手に聞こえてしまうことも。個人が判る情報が伝わらないよう、家族で工夫をしましょう。

解説

ゲームでのトラブルは高額課金以外にもいろいろ

高額課金を心配する声は多いようですが、ゲーム会社ごとに定めた年齢層に応じた課金の上限設定(例:中学生以下5千円/高校生1万円)や、プリペイドカード等を上手に活用しましょう。また、ゲームやSNSのID・パスワードの悪用による被害への注意喚起も必要です。アカウントを乗っ取られる、ポイントやアイテムを奪われる、クラウド保存した写真を盗み見られるなど、被害はさまざま。親しい人でもID・パスワードを教えてはダメ、他人のID・パスワードでのログイン(不正アクセス禁止法違反)もダメということをしっかり教えましょう。

対象年齢に満たない子供の使用に起因した誘拐等も起きています。対象年齢までガマンが大事です。

ワンポイントアドバイス

乗っ取ったIDでその人になりすまし、知り合いをだますようなトラブルも増えています。自分のうっかりが、周囲に迷惑をかけることも忘れずに。

十の知識

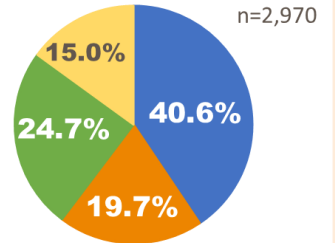
遊ぶ人が増えればトラブルも多くなる！ 年齢ごとの工夫をして安全に楽しむ

老若男女や立場を問わず、古今東西多くの人々がゲームを楽しんでいます。気分転換や息抜き、友達や仲間との遊び、プロになるため、時間つぶし他、目的はさまざまですが、電子機器やオンラインを利用したゲームは、それ以前のものとは異なり**“いつでもどこでも気軽に楽しめる”**のが最大の特徴、継続してプレイする人も約4割います。

(出典：『2020 CESAゲーム白書』調査データより)

オンラインゲームの場合、ネットを介して**メッセージや音声でやり取り**ができる『ソーシャルゲーム』も多く、膨大なプレイヤーの中には**悪意や下心があつて近づいてくる**人もいます。「ゲーム依存」や「高額課金」への注意はもちろん、個人情報知られて「詐欺」「誘い出し」「自撮り」の被害にあわないよう**年齢に応じた工夫**が必要です。

【ゲーム継続プレイ状況】



- 現在も継続的にしている
- 以前はよくしていたが今はほとんどしない
- 1~2度試したことがある程度
- 今まで1度もしたことがない

気をつけよう！ スマホもタブレットもパソコンもゲーム機も

1. 購入・導入の際に対象年齢をちゃんと確認していますか？

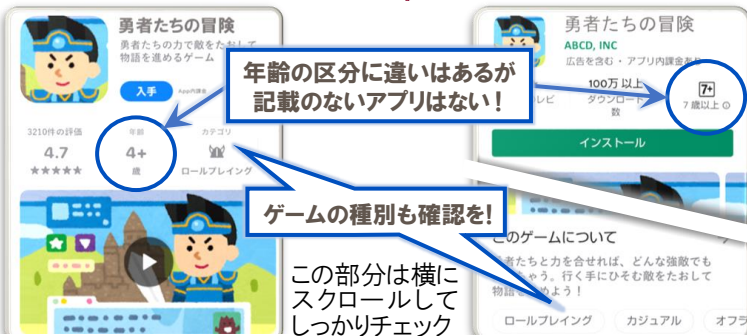
消費者教育

プレイや実況の動画はどんなゲームなのか映像で確認できて便利

- 映画やオモチャ同様、アプリにも市販のソフトにも、全てのゲームに対象年齢がある
- 対象年齢は、内容や遊び方等を基準に定められたもの。購入・導入の前に必ず確認を！



市販のゲームソフト



2. 何にどう気をつける？ できることを身近なケースで考えてみましょう！

I 友達がやっているゲームをしたい！

必ず一緒にやろうね！

対象年齢未満の子も注目するようなゲームはありますが、兄弟や保護者と一緒ではなく“同じ年の友達と”はダメ。みんながやっているようなら、学校や保護者同士で話し合い「危険があるかも？」を共有しましょう。

II チームで戦うゲームをするなら…

弱くてはぶかれた、自分だけアイテムをもらえない、勝手に抜けれられない等、チーム戦特有の問題も。対象年齢に達していても不向きなタイプもいることを理解して、お互いに“無理をしない・させない”で楽しみましょう。

III ボイスチャットができるゲームは…

小学生以下が遊べるものは基本なし。ただ、対象年齢の高い機能を追加してしまい、誘い出し被害にあった子もいます。年齢等ルールを守り、ネットだけの仲間とはプレイに関係ない個人的な話はしない等の用心を！

IV 安全にゲームを楽しみたい！

子供専用の機器にはフィルタリングやペアレンタルコントロールを上手に使い年齢に合う設定を。親子共有の機器は、アカウントを分けて個々に設定する方法も！

時間管理も訓練のうち！